

大正海上本社ビル

TAISHO MARINE AND FIRE INSURANCE COMPANY HEAD OFFICE BUILDING

所在地———東京都千代田区神田駿河台 3 - 9

建築主———大正海上火災保険株式会社

設計者———株式会社日建設計

施工者———鹿島建設株式会社

三井建設株式会社

株式会社大林組

大成建設株式会社

フジタ工業株式会社

株式会社銭高組

竣工———1984年 3 月31日

location———Tokyo

owner———Taisho Marine and Fire Insurance Company

architects———Nikken Sekkei, planners, architects, and engineers

contractors———Kajima Corporation
Mitsui Construction Co., Ltd.

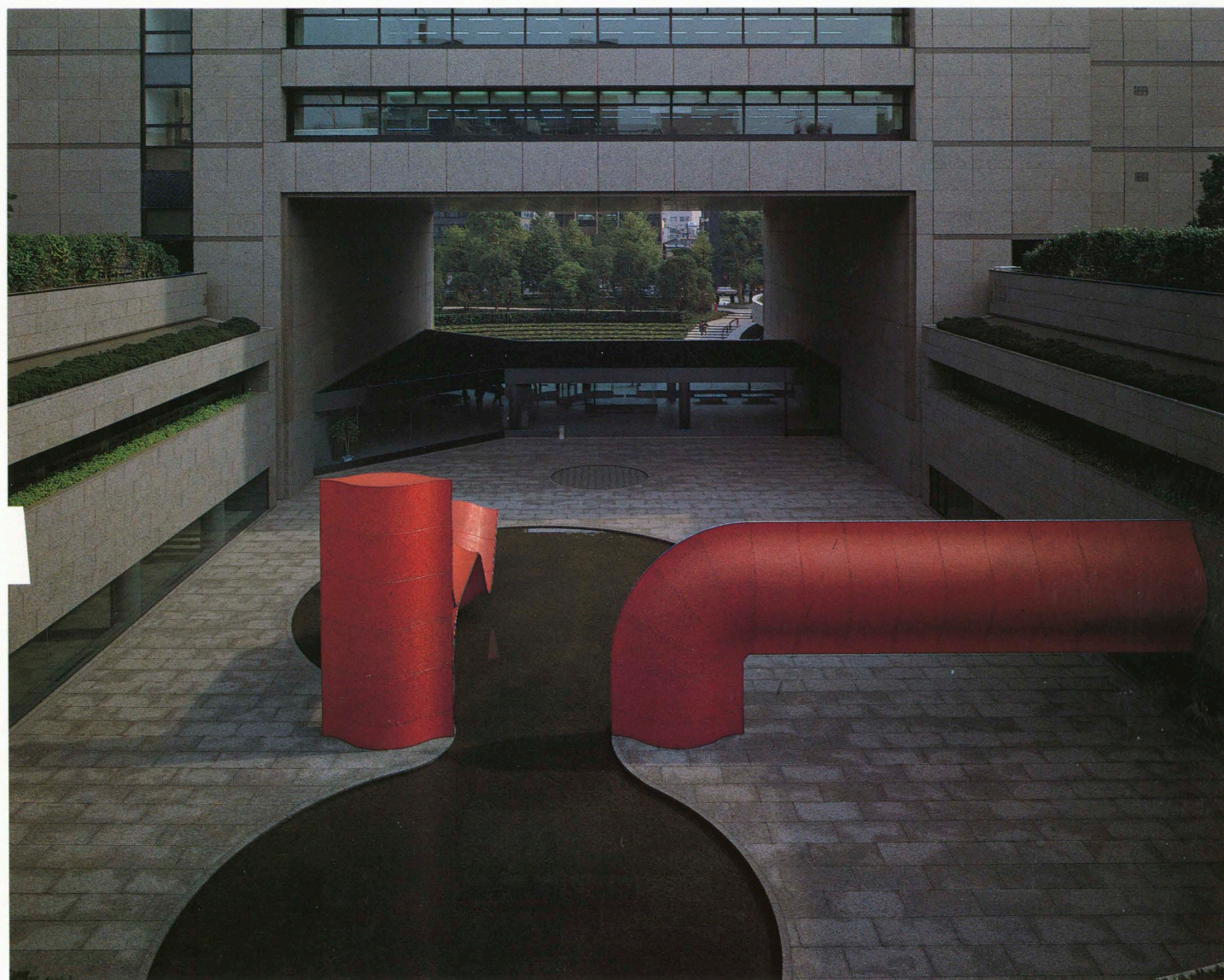
Ohbayashi Corporation

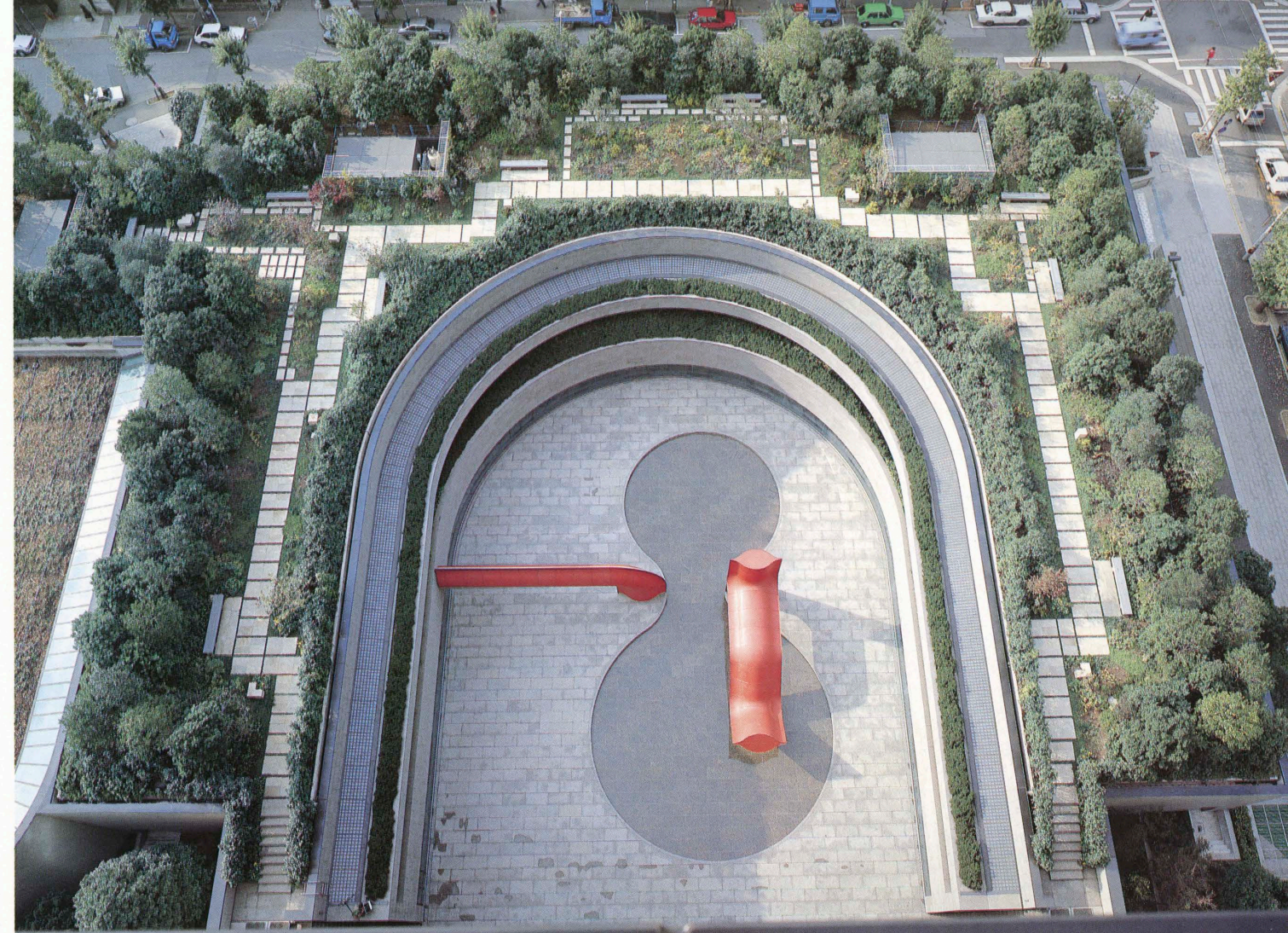
Taisei Corporation

Fujita Corporation

The Zenitaka Corporation

completion date—— March, 1984





左：正面全景 上，下：中庭と低層部屋上庭園 (Left) General view of the facade. (above and below) Courtyard and roof garden.

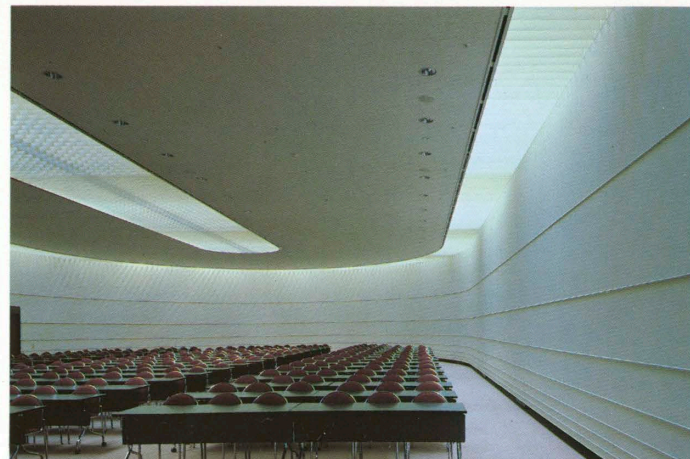




レセプションルーム(24階) Reception room on the 24th floor.



玄関ホール Entrance hall.



大会議室 Main conference hall.



レセプションルーム(24階) Reception room on the 24th floor.

建築概要

敷地面積 11,970㎡

建築面積 5,471㎡

延床面積 75,609㎡

構造 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造

規模 地下3階 地上25階 塔屋1階

仕上げ概要

外部仕上げ 屋根：アスファルト防水軽量コンクリート押え 外壁：カナダ産花崗石打込み PCカーテンウォール 建具：自然発色アルミ押出型材サッシュ 透明フロート2重ガラス

内部仕上げ 基準階事務室 床：ナイロンカーペット 壁：PB・EP一部ウォールキャビネット 天井：岩綿吸音板システム天井 1階玄関ホール 床・壁：カナダ産花崗石 天井：アルミ光輝合金 1階大会議室・2階喫茶室 床：ナイロンカーペット 壁：PBガラスクロスEP 天井：岩綿吸音板φ12mm一部トップライト

設備概要

空調 熱源：一部太陽熱設備 方式：基準階／各階6台の空調機によるペアーゾーン空調方式 その他／空調機＋ファンコイルユニット併用方式 冷凍機：蒸気2重効用吸収式冷凍機620RT 2台 熱回収型ターボ冷凍機400RT 1台 ボイラー：ガス焚き蒸気ボイラー(4.8t/h×2 2.4t/h×1 1.2t/h×1)

衛生 給水：上水150mmφ引込み 受水槽140㎡・70㎡ 中水槽200㎡ 給湯：5系統(低層 中層 高層 主厨房 役員厨房) 一部太陽熱設備 排水：中水・雨水利用設備 雨水貯水槽2,000t

消火 スプリンクラー全館 屋内消火栓 全館 泡消火 ハロンガス消火 放水銃



2階食堂への通路 Hall between the dining rooms on the 2nd floor.



2階喫茶室 Tea lounge on the 2nd floor.

選評 横 文彦 大高 正人 倉本 佳亮

大正海上本社は最近建設されたこの規模の本社ビルとして、設計・施工・管理運営のすべての点において、最も完成度の高い建物の一つであるといつてよい。一つにそれは過去10年以上に亘って目覚ましい発展を遂げた日本の社会・経済の発展の反映でもあるといつてよいが、その中でも、よい意味でのそれ等の成果を最も高い水準において結実させた建築である。確かに、敷地・予算・工期等において好条件に恵まれていたとは言いながら、それ等の条件から最善のものをひきだすべく、施主・設計者・施工者の緊密な協力と研鑽があつて始めてこのようなかたちで建築として実現したことを建物自身が雄弁に物語っている。

まず敷地全体の計画であるが、規模の大きさを感じさせないように周辺の近隣地区に対して充分の配慮がなされているとともに、敷地内部から外部に対する眺望、特に玄関ロビーにたつた時、前方の道路との間に何層もの樹木が植えられ、魅力的なアーバン・デザインを展開していると同時に、幾分道路から沈められたロビーはこの種の本社ビルに往々にしてあり勝ちな威圧感を緩和している。一方ロビーの後方にU字形につくられた低層棟の中庭は、その中央におかれた清水九兵衛の意欲的な彫刻と相俟って、都市の中に優れた空間の奥性を展開している。

一方単体の建築デザインにおいても、基準平面において様々な考え方が隅々にまで行きとどいて行われている。例え

ば3方に眺望が開け、同時に奥行の深いオフィス空間をとることを可能にしたコア配置と、中央部分のOA用のスペースは開放的なオフィス・スペースをつくり出すとともに、新しいオフィスの典型のあり方を示唆している。また外観についていうならば、主として米国産花崗岩によって構成されているその表層は、その高い施工性と相俟って損保会社の本社ビルとしてふさわしい重厚性の中に暖かみのあるデザインを実現している。あえて欲をいうならば、その頂部のデザインにおいて、もう少し魅力のあるスカイラインの形成の可能性が残されていたと思われる。

この建物は、当初より施主である大正海上のトップの熱心且つ精力的な参加が設計・施工のすべての点において行われた結果であるといえる。役員室まわりのデザイン、食堂を中心とする厚生施設のあり方、オフィス・フロアにおける深い庇の出、エレベータのスピード、家具の選択に至るまで、そこには施主と設計、施工者との間に緊密な協同作業が意をつくしたものとなっている。

そしてこれ等この建物の建設に参加した多くの人々の名をほった銘版がサイドエントラスのすぐ外に設けられているが、そこにこの建物にかけられた情熱が象徴的にあらわれている。これ等の点を考慮して、今回BCS賞に最もふさわしい作品として推した理由である。

REVIEW Fumihiko Maki, Masato Otaka and Yoshiaki Kuramoto

In terms of design, construction, and supervision and management one of the most outstanding buildings of its size completed in recent times, this head office was built under far from the best conditions of site, budget, and construction term. The building itself proves that architecture of this caliber is possible only when client, designer and contractor cooperate closely in the necessary research.

Out of consideration for neighboring districts, the overall site planning minimizes the sense of the building's size. Several stands of trees have been planted between the entrance way and the road in front of the building to establish pleasant relations

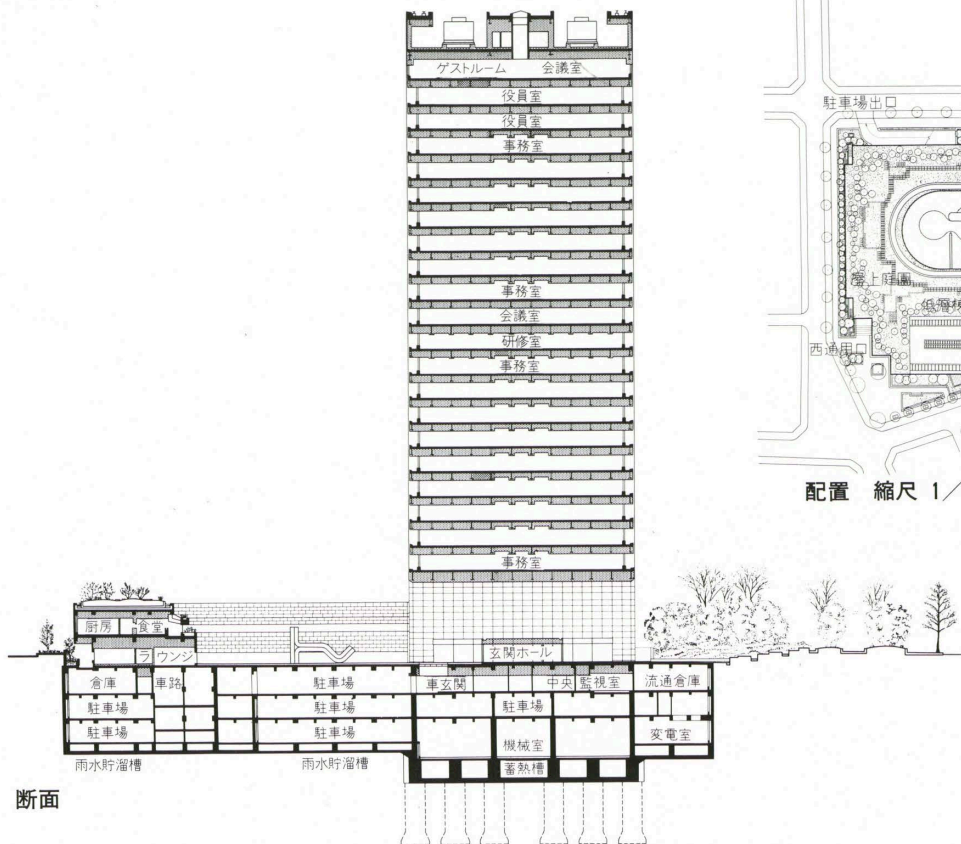
between interior and exterior spaces.

Slightly lowering the lobby below the level of the street relaxes the oppressiveness often experienced in head-office buildings. This, plus the courtyard surrounded by the U-plan rear section of the building and the powerful piece of sculpture by Kyūbei Kiyomizu placed in the center of the court, generate a pleasant space in the heart of the city.

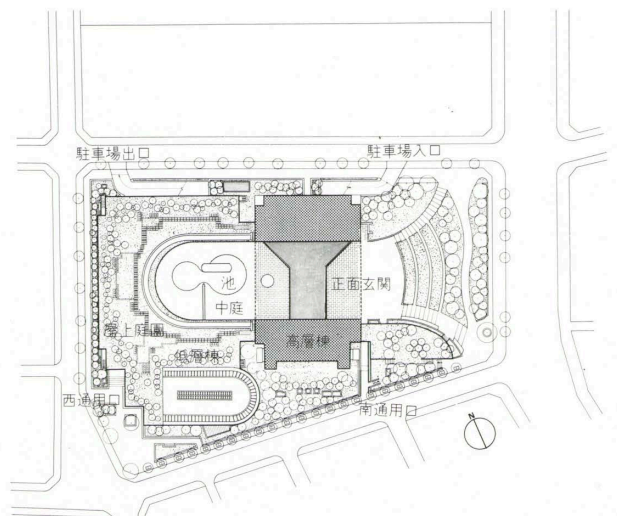
A number of variations have been worked on the fundamentally simple basic plan. For instance, the placement of the core makes possible deep office spaces that are open on three sides. The centrally placed office-automation zone too is open in nature. These

and other measures employed in the planning are rich in suggestions for a new basic office design.

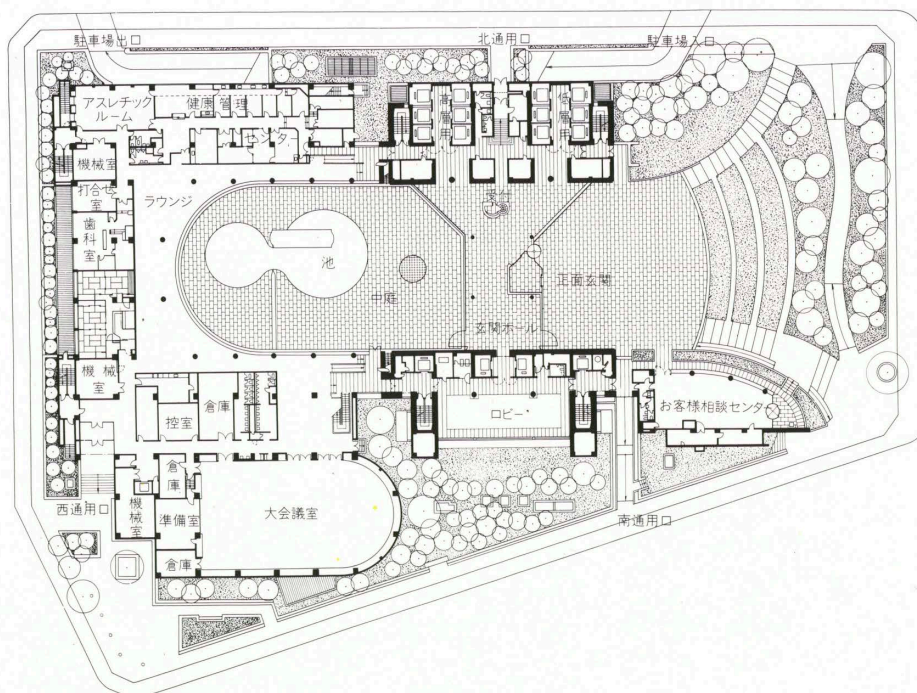
The American granite that is the major external cladding material has been beautifully installed and produces a sense of massiveness well suited to the head offices of an insurance company. From the outset, the client participated in all phases of the work including design and construction. In symbol of the enthusiasm devoted to the entire project, a plaque bearing the names of everyone who participated in it has been installed directly beside the side entrance.



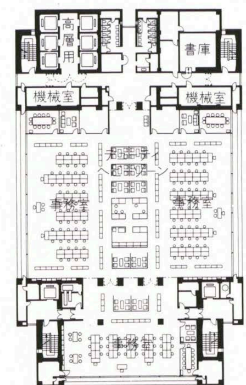
断面



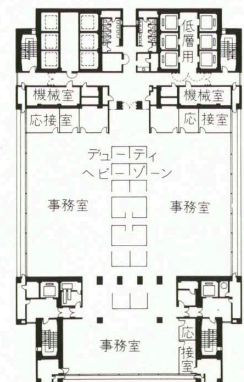
配置 縮尺 1/2,700



1階平面 縮尺 1/1,200



高層基準階平面



低層基準階平面